

各学校長 様

福井県交流文化部文化・スポーツ局文化課長
県立文化施設 館長
(美術館・歴史博物館・若狭歴史博物館
・一乗谷朝倉氏遺跡博物館)

文化施設特別展観覧料減免事業
「文化施設学校鑑賞会」の実施について

向暑の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日ごろから、本県の文化行政に御協力賜り厚くお礼申し上げます。

さて、県ではより多くの児童・生徒が「本物に出逢う」体験を拡充できるよう、学校単位（学校・学年・部活動など／引率教員含む）での文化施設の観覧について常設展・特別展の観覧料を減免する「文化施設学校鑑賞会」事業を実施しております。（各文化施設で学校鑑賞会の対象となる展覧会については、別紙①～④をご参照ください。）

つきましては、本事業への積極的な利用につきまして、ご配慮いただきますようお願いいたします。

なお、本事業をご利用の際は、事前に各文化施設に訪問予定日をご連絡いただき、日程の内諾を得たうえで、訪問予定日の 10 日前までに各文化施設まで、各学校より直接別紙⑤申込書をご提出くださいますようお願いいたします（申込書の提出をもって、減免申請・承認の代わりとします）。申込状況等により、日程を調整させていただくこともあります。ご了承ください。

※展示内容の詳細・休館日については各館 HP をご確認ください。

【担当】 福井県交流文化部文化・スポーツ局文化課
文化振興グループ 太田 朱耶
〒910-8580 福井市大手 3 丁目 17-1
TEL : 0776-20-0582 FAX : 0776-20-0661
E-mail : m-oota-3z@pref.fukui.lg.jp

別紙①

【美術館】

特別企画展

Special Exhibition

5月12日 [金] - 6月11日 [日]

富田溪仙展 ～越前の紙漉きを描く～

富田溪仙 (1879～1936) は京都画壇出身で、再興日本美術院にも所属した異色の画家として知られています。早くから越前和紙の特性に着目し、東西の日本画壇に和紙の魅力を広めることに一石を投じました。

溪仙が越前の地を訪れた経験をもとに描いた《紙漉き》を中心に、画家と紙漉き職人との交流の軌跡を辿る本展では、近代日本画の視点から「描かれた越前の紙漉き」を読み解いていきます。古き良き伝統の中で紡がれる職人の技、そして豊かな自然に育まれた越前を独自の芸術観で捉え、理想郷として作品へと昇華させた溪仙の描く味わい深い世界をご堪能ください。



富田溪仙《紙漉き》1928(昭和3)年 東京国立近代美術館蔵

特別企画展

Special Exhibition

9月15日 [金] - 10月15日 [日]

パリに行きたい!



アルフォンス・ミュシャ
《モナコ・モンテカルロ》1897年
堺 アルフォンス・ミュシャ館(堺市)蔵

※当時のパリ市民にリゾート地モナコ公園への旅行を促した鉄道会社のポスター

もっとも刺激に満ちあふれた19～20世紀初頭のパリは、セーヌ県知事オスマンによる都市の大改造、さらに産業革命によるインフラの整備、テクノロジーの発展などによりメガ近代都市へと変貌を遂げます。花の都と讃えられるパリは、多くの芸術家が才能を開花させた街でもあり、今もなお、芸術都市として世界中の人々を魅了し続けています。モネ、ルソー、ロートレック、ユトリロに加え、エコール・ド・パリの画家の一人であるモディリアーニなど多くの作家の絵画・版画・写真・工芸品を通して、パリにまつわる多様な作品をお楽しみください。



ポール・シニャック《パリ、ボンポワ》1931年
ひろしま美術館蔵

テーマ展 / コレクション展

Themed Exhibition / Permanent Collection

5月12日 [金] - 6月11日 [日]

ちいさい おおきい



櫃尾正次《浮き世》1991(平成3)年
手のひらに収まるくらい小さな根付や刀装具、装身具など、どのように使うのか気になる古美術品から、大人の背丈を超える圧倒的な存在感の現代アートまでの多様な作品が集結します。

9月15日 [金] - 10月15日 [日]

絵のなかのパラダイス



ポール・ゴーギャン
《水辺の女たち》1894

南国タヒチに「パラダイス」を見出したポール・ゴーギャン、山水や花鳥画、日本の原風景に理想郷や仙境を見出した東洋の画家たち。心を“自由”に遊ばせた古今東西の画家たちの表現を紹介します。

西洋版画展

フランスコ・ゴヤ、ウィリアム・ブレイク、パブロ・ピカソなど、当館所蔵の西洋版画の名品を紹介します。



ジョージ・ルオー《秋》1938

11月25日 [土] - 12月24日 [日]

小コレクター運動と福井

創造美育運動福井支部のメンバーたちが、「小コレクター運動」を推進。瑛久や観福等の版画作品収集を軸に運動を繰り広げました。本展では観福の版画作品を振り返ってきた助田憲亮の仕事を中心に紹介。
観福《つる(中上エディション)》2002



1月3日 [水] - 2月18日 [日]

江戸時代の女たち

～魅惑の肉筆浮世絵を中心に～

美人画の名手・菱川師宣や西川祐信をはじめとする肉筆浮世絵を中心に江戸時代の粋でおしゃれな女性たちの暮らしや文化をお楽しみください。



菱川師宣
《二美人と若衆図》個人蔵
17世紀(江戸時代)

3月16日 [土] - 4月14日 [日]

北陸新幹線福井・敦賀開業記念
福井県立美術館名品展

福井県立美術館が46年かけて収集したコレクションから、選りすぐりの名品を紹介します。



野々村仁清《色絵牛園茶壺》
17世紀(江戸時代)

特集・源氏物語

紫式部は娘時代に福井(当時の越前国府・武生)で暮らしたことがあり、源氏物語にも「武生」の地名が登場します。源氏物語の当館所蔵の関連作品を一挙公開します。



岩佐文兵衛勝以
《和漢故事説話図 浮舟》
17世紀(江戸時代)

※「北原照久“お宝”大コレクション展」(7月14日(金)～8月31日(木))については、学校鑑賞会の対象とはなりません。宿題応援券(仮)を配布いたします。配布された「宿題応援券(仮)」を持参していただくと、児童・生徒は無料となります。引率の先生は、減免対象とはなりませんので、ご了承ください。

特別展

「鬼柴田」勝家の実像
～武勇と統治に長けた忠義の臣～

7/29日～9/3日

会期中無休



柴田勝家肖像（英雄三十六歌撰）当館蔵



柴田勝家判物（橋家文書）当館蔵

織田信長の重臣として越前を治めた柴田勝家の事績を紹介します。「鬼柴田」という異名を持った勝家は、従来、武勇に秀でた人物として描かれることが多かったのですが、本展では、勝家の越前支配に注目し、その統治手腕も紹介します。また、近年の研究を踏まえ、勝家の織田家に対する忠義という視点から、勝家がなぜ天下人になれなかったのかを考えます。

写真展

思い出の北陸本線
～令和6年春 北陸新幹線
福井・敦賀開業に向けて～
5月11日～9月12日



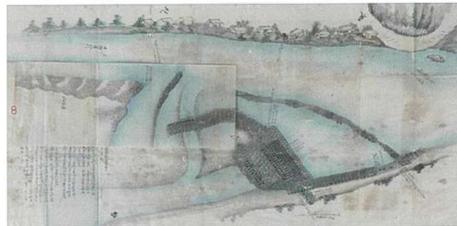
葉原築堤

特別展

描かれた川と人々
～越前・若狭の利水の歴史～

10/21日～11/26日

会期中無休



十郷用水樋理仕方之図（部分） 九頭竜川鳴鹿土地改良区蔵

日本においては、川は輸送路や農業用水などとして利用され、今なお人々の日常に不可欠なものです。人々は、とくに江戸時代以降、川の利用を多様化していくとともに、その様子を描いてきました。本展では主に、江戸時代以降の川やその利用の様子を描いた資料を展示します。また、県内各地の川の利用の歴史を紹介します。

関連イベント

期間中に現地ツアー（担当学芸員による解説付き）開催予定。

写真展

古写真にみる川辺の風景
9月14日～
11月26日



（福井風景）足羽川 其二 個人蔵

企画展

お宝公開！館蔵資料展

2024年3/9日～5/6日

会期中休館日：3月13日(水)、27日(水) 4月10日(水)、24日(水)



刀 当館蔵（福井県指定文化財）
（表銘）「長曾福興里入道希敬」
（裏銘）「本國越前住人至半百唐住 武州之江戸鍛冶之工精尽爾」



豊臣秀吉袖朱印丹羽長重領知宛行状

日頃は公開されていない館蔵品のなかから、選りすぐりの逸品を紹介します。

写真展

福井の歴史と文化をめぐる
～福井県指定文化財～
11月30日～2024年5月7日



特別展

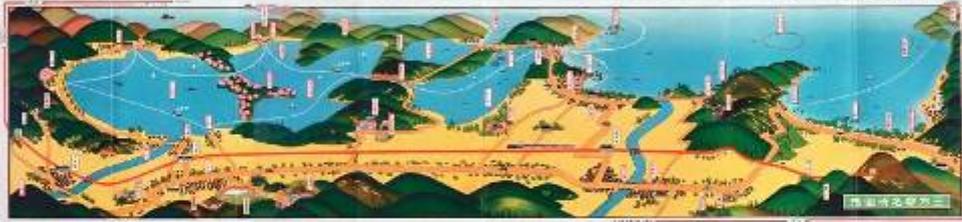
近代若狭観光史 **会期** 9月29日(金)▶11月5日(日)
休館日/10月10日(火)・23日(月)

江戸時代になると、庶民も娯楽としての旅をするようになりました。その旅は、近代に入ると観光旅行として、より一層の娯楽性が強調されてきました。旅行者に「観光地」として見出されるために、また、土地の人々がそこを「観光地」とするべく、人々は景色や産物、産業などを観光資源として開発してきました。

近現代を中心に、敦賀市から高浜町までの「若狭路」は観光地としてどのように観光資源を開発してきたのか、また、旅行者は若狭路で何を見たのか、これまでの観光地としての若狭路を振り返ります。



八百比丘尼像 (神明神社蔵)



三方郡名所 遊覧案内略図 (当館蔵)

テーマ展

若狭・麗しの密教世界

会期 7月29日(土)▶8月27日(日)

「密蔵深衣にして翰墨に載せ難し、更に図画を仮りと悟らざるに開示す」(御講求目録)と、弘法大師空海の言葉どおり、仏像・仏画は密教において悟りの秘致として尊重されました。若狭に伝来し、当館に寄託された密教美術の一端をご紹介します。



絹本着色 弥勒菩薩像 (長源寺蔵)

新収蔵品展

会期 4月22日(土)▶5月21日(日)

令和4年度中に新しく当館へ寄託・寄贈された資料を紹介いたします。



三浦家貞定 (当館蔵)

ちょっとむかしのくらし展

会期 12月16日(土)▶3月10日(日)

懐かしい生活の道具や、古写真などの資料から若狭地域における近代・現代のくらしの変遷を紹介します。



昭和10年代ゴザマントを着て歩く子供たち (井田家所蔵古写真・当館寄託)

開館1周年
朝倉義景没後450年記念特別展
朝倉義景の一生

7/22(土)～9/3(日) ●朝倉氏遺跡博物館

特別展示解説

7/22(土)、30(日)、8/27(日)15:30～16:00

あさみゅーとークプレミアム

展示担当学芸員によるギャラリートークです。ここでしか聞けない展示の裏話も?!

基調講演 要予約

8/5(土)13:30～15:00

朝倉義景・武田信玄
VS
織田信長・徳川家康

大河ドラマ「どうする家康」時代考証
平山優氏による基調講演です。



朝倉義景像 心月寺蔵

あさみゅーと

連続講座 要予約

7/22(土)、23(日)、29(土)、8/19(土)、26(土)、27(日)
13:30～15:00

地味にすごい朝倉義景

県内の学芸員がそれぞれの視点から朝倉義景を読み解く連続講座です。

ワークショップ 要予約

8/6(日)、20(日)
10:00～11:00、14:00～15:00

義景ゼミナール

朝倉義景をモチーフにした小物を工作する体験型ワークショップです。

テーマ展
発掘調査報告書20の成果展

9/30(土)～11/26(日) ●朝倉氏遺跡博物館

特別展示解説 9/30(土)

あさみゅーと

【予告】新幹線開業特別展「戦国大名朝倉氏 武威の煌めき」
令和6年 3月9日(土)～4月21日(日)
●朝倉氏遺跡博物館